

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和８年度第１回戸田市障害者施策推進協議会
開催日時	令和８年７月３０日（木）１４時００分 ～ １６時００分
開催場所	戸田市役所５階５０１会議室
委員長等氏名	濱畑会長 細谷副会長
出席者氏名 （委員）	濱畑委員、小山委員、駒崎委員、田中委員、佐藤委員、友坂委員、稲辺委員、大出委員、小原委員、竹嶋委員、藤原委員、田村委員、細谷委員、谷島委員、石塚委員、小林委員、後藤委員、熊坂委員、香林委員
欠席者氏名 （委員）	
説明のため 出席した者	
事務局	健康福祉部 清水次長 障害福祉課 長友課長 金田主幹 小島主幹 奥富副主幹 鈴木主任 佐藤主事
議 題	１ 開会 ２ 自己紹介 ３ 会長及び副会長の選出 ４ 会長あいさつ ５ 諮問 ６ 議事 （１）戸田市障害者総合計画の進捗管理について （２）戸田市障害者総合計画中間見直しについて ７ 中間見直しアンケートの実施について ８ その他 ９ 閉会
会議結果	別紙のとおり
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり
議事録確定	令和８年８月３１日 委員長等氏名 濱畑委員

※本議事録では、戸田市障害者施策推進協議会を「施策協」、戸田市障害者地域自立支援協議会を「自立協」と表記する。

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
1. 戸田市障害者施策推進協議会開会	
事務局より、開会が宣言された。委員 19 名のうち 19 名が出席のため、過半数に達し、本協議会が成立することが確認された。	
2. 自己紹介	
3. 会長及び副会長の選出	
互選により、会長に濱畑委員、副会長に細谷委員が選任	
4. 会長挨拶	
5. 諮問	
6. 議事	
議題 1 戸田市障がい者総合計画の進捗管理について	
事務局	議題 1 について、資料 1、資料 1－2 に基づき説明
委員	資料 1－2 に関して、2 点お聞きします。 1 点目。「発達障害、高次機能障害等の理解」のところで、「注意欠陥多動性」とありますが、今は「注意欠如」という言葉が使われることが多くなっています。ここは令和 7 年度のままなのかもしれませんが、中間見直しアンケートは「欠如」に修正されていますし、当事者にとっては「欠陥」と「欠如」は大きな違いがあると思いますので、訂正をお願いします。他の部分も同様に修正してください。 2 点目。7 ページ目のスポーツの部分です。障害福祉課で秋季ふれあいピックの案内の促進を図ったということで、A 評価となっています。今年度、春季ふれあいピックに、当団体の方が水泳を申し込みましたが、1 名エントリーできませんでした。その後、障害福祉課へ、受付の申込み時に控え等がないので、申込方法を考えてほしいという提案をいたしました。案内の促進をしたということで A 評価ということですが、申し込み方法の改善を検討していただければよいと思います。
事務局	1 点目の「欠如」と「欠陥」に関しては、以前にもご指摘をいただき、現在行っている中間見直しアンケートの表現を見直ししました。お手元の会議資料の表現については、現計画の進捗管理のため計画記載の表記を用いておりますが、今後については修正をします。

	2点目のふれあいピックの申込みの件では、今回の評価はA、B、Cの三段階ですが、例えばA評価であっても改善すべき点があれば、取り組んでいきたいと考えております。その点も含め引き続きご協議をお願いします。
委員	資料1－1の2ページ目、今年度までの計画だということは理解できますが、成果目標の2つ目「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」で、「精神障害者の地域移行支援の利用者数」や「地域定着支援の利用者数」、「自立生活援助利用者数」が0となっていることが、非常に気になります。0を1にすることは、なかなかエネルギーが必要です。半年少しで目標を達成するために、どのようなことをお考えなのか、教えてください。
事務局	「精神障害にも対応した」という表現ですが、市も実際に、サービスに行きついた人、サービスに行きつかなかった人をどのようにサポートしていくのが、包括的支援と言われる部分だと思います。ご指摘の地域移行支援等の取り組みは目標でもありました。これについては、相談支援事業の相談員の体制も関係します。市のケースワーカーにも日々、さまざまな問い合わせがありますので、そのようなことも含め、相談しながら進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。
委員	地域包括ケアシステムに関しては、背景に、精神障がい者がとても増えているという現状があります。そのような中で、それぞれの関係機関を含めて協議されている現状だと思います。「戸田市の地域包括ケアシステム」がどのようなものなのかという「見える化」等の情報が必要になってくると思います。情報が正しく届けば、地域包括ケアシステムが関係機関との連携・協働が一步進むと思いますので、ぜひ、よろしく願いいたします。 また、資料1－1の成果目標の「福祉施設の入所者への地域生活への移行」は、実績的に0となっています。地域への移行の難しさはありますが、実際の評価の中の75番では、「地域福祉施設を退所し、グループホームや一般住宅等の地域生活への移行の促進」に関して、「地域移行等、意向確認担当者との連携ができています」ということでA評価となっています。成果目標1の0と、このA評価との関係を考えてみると、連携はとれているけれども、さらに一步進めて、地域生活に移行という実績値が0でない数値になるとよいと思います。 最後に、134「福祉施設から一般就労への移行等」はA評価となってい

	ます。142「障害者就労プロセスマップの活用促進」では、見直しをしていくという展開となっています。134と142の関連性から考えると、A評価としながら、そのような課題を抱えているという理解でよろしいですか。
事務局	1点目。施設の要求というところは確かに意向確認はあるのですが、希望してから入所するまでの状況もさまざまです。結果として、入所には至っていないということが表れています。これについては、利用者の希望に基づくため、必要な支援ができるように、協議をしながら進めていきたいと考えております。 2点目。プロセスマップの評価については、AとBで差があるということです。所管課が経済政策室であり、ハローワーク等での周知で差が出ているという場合もあります。その部分は認識していますので、改善に向けて、引き続き取り組んでまいりたいと思います。
委員	福祉施設の入所者の地域生活への移行のところで、戸田市では、重層的支援体制整備事業に取り組んでいるということで、実績を積み重ねておられると思います。福祉施設の入所者の地域生活への移行とは、いろいろな問題を抱えながら、社会資源を有効に活用して、地域に戻るということですので、内容としては重層的な支援が必要な場合もあると思います。新たに取り組まれている重層的支援体制整備事業のことも念頭に置きながら、進めていただきたいと思っています。
会長	「にも包括」の情報提供については、ご意見ございませんか。
事務局	にも包括については、保健所や保健センター、相談支援事業所との協議が始まったところです。成果として示せるように、計画にも入れて、進めていけるように検討したいと考えております。
委員	資料1-2の障害者施策の進捗管理についての重点施策で、令和7年度の実施状況は、ほぼA評価ということで、達成できているという説明でした。詳細を見ると、実績としては達成できているけれども、課題があったり、もう少しできる部分があったりすることが評価にでてくるのだと思います。そのような意味では、評価理由に、「周知を行った」「周知活動を行った」という結果だけを表記してあるが、それでは不十分だと感じます。評価Aでも、すべてできているのか、どのような課題があるのか、この協議会の中で、その課題について議論していただきたいところがどこなのか、

	ご提示いただくとよいと思います。今後、改善をお願いしたいと思います。 また、１ページの施策７の「ピアカウンセリングの活用」で、戸田市身体障害者福祉会では、相談に来られる人がほとんどおらず、相談実績は０に近いのですが、毎月１回、相談を担っていました。会員も高齢化している中で、相談の担い手不足もあり、ピアカウンセリングは、今年度、辞退するとお伝えしました。そのような中で、評価がＡということでしたが、ピアカウンセリングを行ったということで評価されたのでしょうか。ピアカウンセリングの質や内容について評価がされたのでしょうか。 最後に、就労支援プロセスマップが、１３４と１４０と１４２ということで、それぞれに施策の実施状況が出ています。担当課も実施内容も違うことは承知していますが、１４２「障害者就労支援プロセスマップの活用について積極的に進められていないため」とあります。なぜ進められていないのか、どのようなところに課題があるのか、表記していただければ、施策協の中でも課題について意見交換ができると思います。
事務局	１つ目。Ａ評価に対する理由に関しては、施策協でより協議しやすいように、協議していただきたい点等、事務局からお示しできるように、表記のしかたを検討します。「行った」ということで終わるのではなく、今後、どのように進めていくのか、Ａ評価でも改善点や課題があれば記載し、議論がしやすいよう表記したいと思います。 ２つ目、ピアカウンセリングについては、「昨年、取り組みを行った」ということで評価しております。 ３つ目、プロセスマップに関しては、項目により評価の差ができる原因として、部署による取り組み方の違いがありますが、プロセスマップの推進ということでは同じ取り組みとなりますので、今後、差が出ないように周知したいと思います。障害福祉課を含め、関係課と協力しながら連携し、進めてまいりたいと思います。
委員	ありがとうございました。 ピアカウンセリングの活用を実施したということで、評価したということですが、１１年度までまだ期間がありますので、「実施した」ということ以外に、資質、内容、また、限られた障害種別だけでなく、難病も含め、いろいろな障害の方が相談しやすいような、利用者目線の評価目標をつくっていただけるとよいと思います。

	障害者就労マップの活用については、一部の声しかお聞きしていませんが、「活用していない」、「活用できていない」という話も聞きます。実施状況も含めて、内容をご確認いただけるとよいと思います。
事務局	施策協の協議がより充実するように、評価欄、課題、今後の方向の記載を充実したいと思います。 プロセスマップの状況については、見直しをしている段階ですので、取り組み状況、実施状況を確認します。
委員	重点施策以外のものに関する評価は、一切挙がっていませんが、どこかで見ることはできるのでしょうか。もしくは、口頭でポイントを説明するのであれば、1－2の中にすべて入れていただけるのであれば、1－1で説明があったものも、確認しながら見ていけると思いました。どのような整理がなされているのですか。
事務局	重点施策に関して、新しく委員になられた方々もおられますので、説明します。計画の実施のところに網掛けしているところが重点事業となっています。お配りする資料についても、計画のように、わかりやすい表現になるように工夫いたします。よろしくお願いします。
会長	よろしいでしょうか。資料1－2は、計画書55ページ以降のそれぞれの施策の展開に対応しているということです。3年前に策定された計画ということで、委員の皆さまにご協議いただいているものは、この3年間の進捗状況になると思います。
委員	重点施策に関してはよく理解できました。それ以外のものの進捗状況は、どこかで見ることは可能ですか。
事務局	この計画は3年計画ですが、進捗管理については、毎年1回、報告をしており、令和7年度は、本日の会議での報告となっております。資料と議事録は、後日、ホームページに掲載し確認できるようになっております。
委員	私どもの団体は、当事者の保護者の団体で、例えば、専門用語等に知識がない人が多い状況です。先ほどから何度も挙がっている「ピアカウンセリング」や「プロセスマップ」に関しては、発信したということで、A評価なのだと思いますが、実際に、私たち親や当事者には、そのようなものがあるということは届いていない場合がほとんどです。発信さえしておけば、A評価を受け取ることができるということでしょうか。届いていなければ、ないものと同じで、私たちにとっては、発信されていないのと同じだと、

	進捗状況の評価を受け取るたびに思います。 先ほどの例でも、発信に関してはA評価でも、届いていなかったということがわかれば、会にもどったときに、その部分をお伝えできると思います。 先ほどの「足りないところを載せてほしい」という要望は、何年か前の会議でもお伝えしたことです。Aという評価だけでなく、今後必要なものを載せていただきたいとお伝えしました。載せていただけるように、さらに強くお願いします。
事務局	委員の皆さまと、より充実した協議ができるよう頂いた意見をもとに改善に努めたいと思います。次の進捗報告では、より分かりやすい資料でお示ししたいと思いますので、よろしくお願いします。
会長	情報提供のあり方についても、私からもお願いします。会議体の情報共有だけではなく、市民の皆さま、障害をお持ちのご本人に届く情報提供のあり方が重要だと思いますので、よろしくお願いします。 その他ご意見ないようなので、議題1は承認とします。
議題2 戸田市障がい者総合計画中間見直しについて	
事務局	議題2について資料2に基づき報告
委員	当団体の数名の方に、アンケートが届いていました。私どもは、知的障害の会なので、ご本人がすべてを記入することは難しい場合が多く、記入者は保護者になる可能性が高いのですが、その保護者数人からご意見をいただきました。「質問が難しい」「答えづらい」「見づらい」という声が多くありました。アンケートは重要なことにつながるということで、一生懸命に記入するのですが、どちらに記入してよいのかわからない場合が多いというご指摘がありました。すると、団体向けのヒアリング調査が重要になってくると思います。もちろん、当事者の声がここに集まることが一番望ましいのですが、日々、介助している人から見た、ご本人の困り事等が浮き彫りになると考えると、紙では表せない声を、多く受け取っていただきたいと思います。これは、当団体からのご意見です。
事務局	ありがとうございました。ご意見も踏まえて、今後、検討をしてみたいと思いますが、今回については、本計画を策定したものがベースになっておりますので、次回の策定の時には、回答のしやすさ等も含めて検討します。
会長	スケジュール案のご提案の部分は、今年度はこのような形で進めるとしても、次回以降、令和11年度の見直しの際には、進め方をご検討いただけ

	るとよいと思います。 スケジュール案は、法定の行政計画ですので、3年に1回、見直しをする形になります。障害者計画は6年に1回、障害福祉計画や障害児福祉計画は3年に1回の策定という流れです。今年度は、全体計画はそのまま、障害福祉計画や障害児福祉計画について見直しをしていくというスケジュールとなります。 スケジュール案については、本日の日程も含め、進行計画となります。ご確認いただき、お気づきの点があればご意見をお願いいたします。 そのほかご意見ないので、議事2は承認とします。
7. 報告	
報告1 中間見直しアンケートの実施について	
事務局	報告1について、資料3-1、資料3-2、資料3-3、資料3-4に基づき説明
会長	その他について、委員からあればお願いします。
8. その他	
自立協会長	戸田地域自立支援協議会の活動について、資料4に基づき説明。
委員	虐待に関して、全国的にも施設従事者による虐待が非常に増えているという実態があります。戸田市でも、埼玉県でも同様の状況だと説明しています。虐待の多いところは、グループホーム等だとお聞きしていますが、自立協で、各法人、各事業所実際にどのような取り組みをしているかを集約していただき、情報共有をしていただけると、どのような方法があるのかを知ることができ、ヒントにつながると思います。法人の規模や事務局の規模が小さいところもあり、虐待防止に関しても悩みが多いところもあります。場合によっては、共同で行い、取り組みやすい環境を整えていただけると有効だと思います。虐待そのものが0でなければいけないという大前提に立って、取り組む必要があります。施設従事者による虐待は減っておらず、増えているという深刻な状況があります。実態の調査と情報の共有によりヒントにつなげ、必要であれば共同で取り組むことをお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。
事務局	自立協は、今年度、虐待防止として権利擁護を議題として扱っており、今後も続けていく予定としております。併せて、市としても、虐待防止セン

	ターがありますので、ご指摘の部分が充足できないか、考えてまいります。 「自立協で」というご意見でしたが、虐待防止センターと相談して取り組んでいける部分だと思いますので、また、報告できることがあれば、報告いたします。
委員	要望を申し上げます。各専門部会の活動概要について、医療的ケア児者支援部会と障害者就労推進部会で、せっかく良い取り組みをされていますので、その都度、施策協にご報告いただけたらありがたいと思います。部会で、1年に1回、紙で見て初めて知ることが多いので、施策協において随時ご報告いただけるとよいと思いますが、いかがでしょうか。
自立協会長	次回の報告の際には、専門部会の取り組み内容について、委員の皆さまにご報告させていただきます。ご要望、ありがとうございました。
委員	「強度行動障害」という障害はどのような障害でしょうか。新しい委員の方もおられますので、説明していただけるとありがたいと思います。
事務局	聞きなれない専門的な言葉が多いと思います。その都度、ご質問いただければお答えさせていただきますが、計画115ページ以降に言葉の説明を載せておりますので、参考にしてください。「強度行動障害」も記載しております。
会長	障害の分野も、種別も含め、多岐にわたります。新しい言葉も増えており、本日も、「にも包括」という言葉がありました。ご理解いただけているかもしれませんが、意味を共有していただけるとよいと思います。さまざまな施策を進める中で、委員の皆さまにきちんと理解をしていただくことは重要だと思います。よろしく願いいたします。 そのほかご意見ないようなので、自立協の報告については以上とし、事務局から何かあればお願いいたします。
事務局	事務局より次の2点について説明 ・資料提供の電子化について ・関係団体のヒアリング調査について
9. 閉会	
以上	